

13世紀のラムジ修道院カーチュラリ

都 築 彰

Cartulary of Ramsey Abbey in the Thirteenth Century

Akira Tsuzuki

Cotton MS. Vespasian E.II, preserved in the British Library, includes a cartulary of Ramsey Abbey in Huntingdonshire. It is arranged in three sections and contains more than one hundred copies of royal charters and other charters by abbots, bishops and some lay tenants and about fifty copies of fines and agreements, with the additional documents transcribed later than the time of making of the cartulary in the original form. It seems that the transcription of the documents in the table of contents was ordered and finished during the abbacy of Ranulf Brito (1231-53). Abbot Ranulf probably needed a reference book on the rights and the properties of the abbey at hand in order to control large estates. In this paper, I show the tables of the main documents and the additional ones and make some comments on them. Although we can read many copies of the documents of Ramsey Abbey in the *Chronicon Abbatiae Rameseiensis* and the *Cartularium Monasterii de Rameseia*, the text in the Cotton MS. is another important cartulary of Ramsey Abbey and gives us more information about this old Benedictine monastery in England.

はじめに

表題のカーチュラリ¹⁾は、ブリティッシュ=ライブラリ所蔵の写本、Cotton MS. Vespasian E. II に収められている。120フォリオからなる写本のうち、G・R・C・デイヴィスの『中世ブリテンのカーチュラリ』では、1-78フォリオがラムジ修道院のカーチュラリに分類されている²⁾。本稿では、この部分を分析対象とし、写本全体の検討は行わない。カーチュラリの作成時期は、デイヴィスによれば、13世紀、厳密には1246年以降となっているが、この点については、第2節で検討する。

ところで、ラムジ修道院のカーチュラリは、既に19世紀にW・H・ハートとP・A・ライアンズ編の『ラムジ修道院カーチュラリ』(以下『カーチュラリ』)3巻³⁾とW・D・マクレイ編の『ラムジ修道院年代記』(以下『年代記』)⁴⁾が公刊されており、広く知られている⁵⁾。これらのうち、前者は大部の写本で、非常に網羅的であり、後者は年代記の体裁を取っているが、大半は国王証書等修道院文書の集成である。Vespasian E.II に収録されている文書も、とりわけ国王証書は、その大半がこれらの刊行本で読むことができる。その意味では、今改めて、このコットン写本を紹介する意義は大きくはないが、ここには、上記『年代記』及び『カーチュラリ』には含まれない文書も、少なからず収録されている。また同一修道院の複数のカー

チュラルリの比較検討は、歴史資料そのものへの関心からも、相応の意義を持つと考えられる。今回十分な比較検討作業を行うことはできないが、本稿は、そのための予備的作業として、Vespasian E.IIのカーチュラルリの構成と収録文書の一覧を提示し⁶、その特徴と作成の意図を探ろうというものである。

1 カーチュラルリの構成について

Vespasian E.IIは、およそ縦23cm、幅15cmの羊皮紙から作られている。『カーチュラルリ』が、縦32cm、幅22cmほどであるのに比べると、やや小体な写本である。写本全体は15の折り丁(Quire)からなるが、カーチュラルリ部分の折り丁数は10で、フォリオ(Folio)の数は不揃いである。最初に折りたたんだ羊皮紙の半分を切り取った白紙のフォリオが付されているが、その後の各折り丁は、第6番目まで、基本的に5枚の羊皮紙を折りたたんだ10のフォリオからできている。但し、第1フォリオの対の半分が切り取られているので、第1折り丁は第9フォリオまでであり、第5折り丁は4枚をたたんだ8フォリオからなる。第7から第9までの折り丁は、3枚の羊皮紙からなる6フォリオずつであるが、第8折り丁の真ん中の羊皮紙は半分が切り取られて、フォリオ数は5である。最後の第10折り丁は、2枚の羊皮紙からなる。折り丁とフォリオの対照、及びおおよその収録文書を一覧にすると、以下のようである。

- 第1折り丁／1－9フォリオ(目録、国王証書)
- 第2折り丁／10－19フォリオ(国王証書)
- 第3折り丁／20－29フォリオ(国王証書、その他の証書)
- 第4折り丁／30－39フォリオ(その他の証書)
- 第5折り丁／40－47フォリオ(その他の証書、追加文書)
- 第6折り丁／48－57フォリオ(最終和解譲渡証書)
- 第7折り丁／58－63フォリオ(最終和解譲渡証書、追加文書)
- 第8折り丁／64－68フォリオ(協約文書、追加文書)
- 第9折り丁／69－74フォリオ(追加文書)
- 第10折り丁／75－78フォリオ(追加文書)

当初収録が予定されていた文書は、第8折り丁に転写されたものまでだったと思われる。第7・8折り丁が6フォリオしか含んでいないのも、収録文書を種類別にまとめるために、折り丁のフォリオ数を調節した様子が窺える。第2－4フォリオには収録文書の目録が付されているが⁷、そこに記載された文書が(記載漏れがあるが)、当初収録が予定された文書であろう。これら文書は、イニシャルに赤と青の彩色が施され、筆跡やインクなどから、目録を含めて、ひとりの書記によって転写されたものと思われる。第2フォリオの目録の1行目(“*Privilegium Edgari Regis.*”)と2行目(“*Privilegium Sancti Edwardi Regis.*”)の右側のスペースに、“*Carte de Rameseia per Robertum de Dodeford clericum transcripte.*”の同一筆跡による書き込みがあり、この人物が当該書記であると推定されるが、院長ヒュー(Hugh Foliot, 1216-31, or Hugh of Sulgrave, 1254-68)の時代にR. de Doddefordなる修道士がいたことの他は、確認できなかった⁸。

当初の収録文書の数は162(但し、重複を含む⁹)で、これらの他に、ほとんどの折り丁に、後に空白箇所を埋めて転写された文書が見られる。第9・10折り丁は、すべてがそれら追加文書で占められている。追加文書の合計数は50程度であるが、年代が推定できるものに限れば、1例¹⁰を別として、おおよそ14世紀初頭まで、より厳密には、1315－16年頃までの文書である。追加文書はひとまず除外して、次に、当初収録の文書から、カーチュラルリの最初の作成時における構成を考えてみよう。

このカーチュラルリの構成は、非常に明快である。文書は、その種類と内容別に3つのパートに分けられ、

第2部を別とすれば、ほぼ発給者毎或いは年代順に並ぶように配慮されている。第1部はイングランド王が、第2部は司教・修道院長及び俗人テナント等が発給した証書 (Charter) が集められ、通し番号が付されている (最初の3点を除く)。第3部は、国王裁判所における最終和解譲渡証書 (Final Concord, or Fine) とそれ以外の協約 (Agreement) である。第3部の証書は、改めてiから番号が付されている (但し、間違いがある)。以下、パート別に、もう少し説明を加えておこう。

[1. 国王証書] 集められた証書は、エドガー (Edgar, 959-75)、エドワード証聖王 (Edward the Confessor, 1042-66) のアングロ=サクソン諸王のものが各1、ノルマン征服後は、ウィリアム征服王 (William the Conqueror, 1066-87) のもの1点のほか、ヘンリ1世 (Henry I, 1100-35) が21点、ヘンリ2世 (Henry II, 1154-89) が15点、リチャード1世 (Richard I, 1189-99) が3点、ジョン (John, 1199-1216) が8点、ヘンリ3世 (Henry III, 1216-72) が3点、計53である。征服後に限ると、ウィリアム2世 (William II, 1087-1100) とスティーヴン (Stephen, 1135-54) の証書はまったく含まれず、収録された王達の証書についても、ウィリアム1世、ヘンリ1世及び2世など、『年代記』等に比べて、かなり収録文書が精選されているのが特徴である。

国王証書の筆写に当たっては、かなりの圧縮作業が施されている。国王の名はイニシャルで書かれ、称号は「イングランド王」のみで、「ノルマンディ公」、「アキテーヌ公」等は省略されている。名宛人も原則として省かれ、「以下略」として処理されている。例えば、“*H. rex Anglorum et cetera.*”のように書かれる。末尾の証人欄でも冒頭の1名が転写されるのみで、発給地名も省略され、「以下略」となる。但し最初の3点とヘンリ3世の証書については、省略はされず、全文が筆写されている。

最初の3点の長文の王文書 (Diploma) は、いずれも12世紀前半から中頃にかけて作成された偽文書とされている。ノルマン征服以前の修道院資産と征服後の損失を明示する必要と、ドゥームズデイ=ブック調査後の訴訟の過程の中から生み出されたものだという¹¹。またヘンリ1世とヘンリ2世のオリジナルの証書については、T・A・M・ビショップの研究があるが、ラムジ修道院の証書に関しては、Vespasian E.IIにはコピーされていないが、『年代記』に転写された1点が「恐らく真正ではない (Probably not authentic.)」と判断されている¹²。

上記のように、国王証書はヘンリ1世とヘンリ2世のものを中心に選定されている。『年代記』と『カーチュラリ』においても、これら2人の王の証書が多く収録されているが、エドガー、エドワード、ウィリアム1世の包括的証書の他に、個別の所領や特権の授与と確認について、両ヘンリ王の証書が重要視されていたのだろう。数点においては、ヘンリ1世の証書と、それを確認したヘンリ2世証書がともに収録されている。表1の9と25は、そうした例で、9では「あらゆる土地と教会、十分の一税 (*omnes terras et ecclesias et decimas*)」の他にセント=アイヴズの市 (*feriam suam ad Sanctum Ivonem*)、クラッククロス=ハンドレッド (*Clackclose hundredum*)、ダウナムの市 (*mercatum suum de Dunham*) 等が網羅されているが、25はほぼ忠実に、これらを確認している。この証書は更に、リチャード1世によって確認され (40)、その後もジョンによる認証を受けている (42)。同様にして、ヘンリ1世の4、7、10、11、15、20は、それぞれヘンリ2世の31、27、30、33、26、29によって確認されている。

[2. その他の証書] 国王証書の転写は第25フォリオの裏頁半ばで終わっており、続くヘンリ3世の証書は、カーチュラリの完成後に転写された追加文書のような。この文書は第27フォリオ表頁で終わっており、残りスペースは空白で、裏頁には別の追加文書が転写されている。次の第28フォリオから、その他の証書 (*Alie Carte*) が始まり、第3折り丁から第4折り丁を経て、第5折り丁の第42フォリオの表頁まで続いている。第5折り丁の残るスペースは白紙のままにされ、追加文書が転写された。次の第3部の最終和解譲渡証書は、新しく第6折り丁から筆写されている。

その他の証書は、国王証書のような冒頭部分の省略はみられないが、やはり証人の記載は1名のみで、発給地名も省略されている。また、これらの証書は、国王証書と違って、発給者毎に、或いは時間的順序で並べられていない。但し関連する文書をまとめるという工夫はなされている。例えば32フォリオ裏から33フォリオ表にかけて筆写されている3点の文書（表1の69、70、71）は、ラムジ修道院の聖具係（*sacrista Ramesiensis*）に対して、ラムジの調理人（*cocus de Ramesia*）のThomasの息子Danielが、父が保有していた土地を寄進し（69）、同じく息子の厩舎係（*marescallus*）のWalterが、Danielが払うべき6ペンス（の地代）（70）と、売却した父の保有していた家の賃貸料（*annuum redditum ... de domo que fuit Thome patris mei quam vendidi*）の支払い（71）を保証するという内容である。この例からもわかるように、発給者がラムジ修道院長の場合も、受益者が修道院である文書も雑多に集められている。だが年代推定が困難なものを別として、過半数の文書が13世紀前半、特にヒュー＝フォリオット（Hugh Foliot）院長の時代に集中している。これは、次の最終和解譲渡証書についても言えることであり、この特徴が、カーチュラリの作成時期及び作成意図と関連していると思われる。

〔3：最終和解譲渡証書〕最終和解譲渡証書は、通常1枚の羊皮紙に同一文書が3回書かれ、それらをジグザグに切り離し、1通ずつを訴訟(売買)当事者と国王裁判所が保管する。いわゆるカイログラフ（Chirograph）である¹³。

最終和解譲渡証書の記載は、第6折り丁の最初から始まり、第7折り丁の第61フォリオ表5行目まで続く。残る8点の協約文書（国王裁判所ではなく、当事者間における協約）は、第8折り丁の頭から記載されており、先に述べたように、第7折り丁が6フォリオしか含んでいないのは、あらかじめ最終和解譲渡証書の点数に合わせて、フォリオの数を調整したようにみえる。最初の文書は、最終和解譲渡の早期の例である1182年のヘンリ2世治世のそれであり、以下1245年のものまで、年代順に、計43点が収録されている（但し、やはり年代の誤りがある）。ヘンリ2世治世の数例を除けば、大半は最終和解譲渡が一般化する12世紀末以降のもので、最も多いのは、ここでもヒュー＝フォリオット院長時代の19点である。

2 その作成時期と作成意図について

カーチュラリの作成年代の検討に入る前に、他の文書集成である『年代記』と『カーチュラリ』の作成年代について、整理しておこう。『カーチュラリ』の写本は国立公文書館に所蔵されている。14世紀第二四半期の手跡で書かれ、271のフォリオを含む大部の写本である¹⁴。『年代記』は、4つの部分に分かれ、最初の3つのパートは、叙述形式で10世紀の修道院創建からノルマン征服前後までを語るが、この部分は『カーチュラリ』の写本の一部をなしている。しかし、これとは別の写本がオクスフォード大学ボドリ図書館に所蔵されており、こちらには、上記の3つのパートの縮約に加えて、13世紀までの国王証書等を収集した第4部が含まれている。同写本は13世紀末もしくは14世紀初頭のものと考えられるが、年代記自体の作成は12世紀後半、1170年前後だという¹⁵。

以上から、カーチュラリの成立年代は、『年代記』のオリジナルの写本と、その現存写本及び『カーチュラリ』の写本との間に位置することになる。デイヴィスが成立年代を1246年以降としているのは、第3部を構成する最終和解譲渡の最後の証書が1245年のものだからであるが、目録に記載された他の証書についても、現時点で年代推定ができないものを別とすれば、この推定で矛盾は生じないようである。恐らく1245年に近い時期に作成されたと考えられるが、年代の下限について、もう少し考えてみよう。

前節でみたように、第3折り丁のフォリオ25裏から27表にかけてヘンリ3世の証書が記載されている¹⁶。国王証書集の最後に続けて転写されたものだが、追加文書と考えられる。先王ジョンの証書を引用、確認

した謄本認証証書 (Charter of inspeximus) で、認証を受けたジョンの証書も転写されているが¹⁷、内容の重要性からみて、この現国王 (カーチュラリの完成時期は、ヘンリ3世治世より後ではないだろう) の証書を取録文書に入れなかったとは考えにくい。同証書の発給年月日は、1253年6月19日である。従って、カーチュラリは、遅くとも1253年までには完成していたと見てよいだろう。この時期は、レナルフ=ブリトー (Ranulf Brito) 院長の在任期間 (1231-53年) と一致する。すなわち、カーチュラリは、レナルフの命令によって作成されたと考えられる。

カーチュラリの作成が、レナルフの指示によるものだったとすれば、カーチュラリの作成動機について、次のように推測できる。恐らくレナルフは、比較的最近の文書、特に前院長のヒュー=フォリオットが交わした最終和解譲渡証書や彼の在任期間中に発給ないし受領した証書類を集めておこうと考えたのだろう。それとともに重要な国王証書も筆写されたが、網羅的ではなく、選択されたものであったのは、既に12世紀までの証書類は、『年代記』の写本の第4部にまとめられていたからだろうか。レナルフは有能な修道院長だったらしく、国王裁判官の経験もあった¹⁸。包括的な修道院記録としてというより、実務的な関心から、ラムジの資産・権利について絶えず参照するために、このカーチュラリを必要としたのではなかろうか。カーチュラリのサイズも、精選された内容も、そのような作成意図があったことを推測させる。

国王証書、その他の証書、最終和解譲渡証書、協約文書、それぞれの筆写のあとに一定の白紙部分が残されたのは、一応の完成後も文書の加筆を予め想定していたように受け取れる。しかしその後の追加文書の筆写は、当初の整然とした構成とは裏腹に、証書類以外の覚書等も含めた、かなり雑然としたものとなった。追加文書の年代下限がおおよそ1315-16年頃までであるのは、スペースがなくなったことと、14世紀の前半に新たな修道院記録集成である『カーチュラリ』の作成が始まったからであろうか。そのように考えられるとすると、カーチュラリの最終的な完成の時点はこの時期ということになる。

3 表1及び表2について

最後に本稿の締めくくりとして、表1と表2について、若干の補足を加えておくことにしたい。

表1には、目録に記載されている文書、すなわちカーチュラリの原型をなすと思われる文書を掲げている。文書の内容として示しているのは、冒頭の見出しの部分である。但し、証書については、“*Carta Henrici Regis primi*”、最終和解譲渡証書については、“*Finalis concordia facta in curia Henrici Regis secundi*”などが文頭に来るが、その部分は省略している。

上記のとおり、表1は目録に挙げられている文書の一覧であるが、例外がある。24番がそれで、このヘンリ1世の証書は目録に載っていない。しかし明らかに、前後の文書と同時期に筆写されたものである。ヘンリ1世証書集成の最後に付け加えられた同証書は、オウヴァ (Over, Cambridgeshire) の土地を William Pecche がラムジ修道院から保有することを認証している。これと関連して興味深いのは53の証書である。こちらは、オウヴァの土地をラムジ修道院長が William の孫の Geoffrey Pecche に授与したことを確認したヘンリ2世の証書である。この証書は、順序を無視してヘンリ3世の証書集成の後、すなわち国王証書集成の最後に転写されているが、実はヘンリ2世証書集成の最後に当たる38の証書の末尾に、次の一文が付け加えられている。「オウヴァに関する同王の証書は、この後の8番目のフォリオを参照せよ (*Carta ejusdem de Overe requiratur in octavo folio consequenti.*)」。この8番目というのが、16フォリオから8枚目という意味だとすると、計算が合わないのだが、53がその証書であることは間違いない。この文言が書き加えられたのは、目録には、38の証書の次に「オウヴァに関する同王 (ヘンリ2世) の証書 (*Carta ejusdem de Overe.*)」と書かれているからだろう (従って、文書本文の転写以前に目録が作られていたと思われる)。

つまり当初は、38の証書の次に53の証書が筆写されるはずであったが、何らかの理由で、53の文書が書き漏らされてしまったのである。なぜこのような混乱が生じたのだろうか。急遽目録に挙げていなかったヘンリ1世のオウヴァに関する証書を転写することになった書記（ロバート＝オヴ＝ダドフォード）が、ヘンリ2世のオウヴァに関する証書を転写する際に、既に筆写したヘンリ1世の証書をヘンリ2世のそれと錯覚したのだろうか（「ノルマンディ公」などの称号は省略されているので、同名の王の場合見分けがつきにくい）。ヘンリ2世のオウヴァに関する証書は既に転写してあると勘違いした彼が、国王証書をすべて転写し終わった後になって、それがヘンリ1世の証書であったことに気づき、改めて国王証書集成の最後にヘンリ2世の証書を書き加えて、38の証書の末尾に上記文言を挿入、ないしは書き直して加えることにしたのかもしれない。いずれにせよ、こうした混乱が起こった要因として考えられるのは、1220年代からオウヴァの土地がPecche家との係争の対象になっており、カーチュラリ作成の数年前の1237年に、最終和解譲渡によって土地保有権の移転が完了していたことである¹⁹。あるいは、この時の国王裁判所での審理のために、オウヴァ関係の証書類が持ち出され、終了後も他の証書類とは別に保管されていたために、このような目録にない証書の追加や記載上の混乱を招いたのかもしれない。実は、その他の証書の冒頭のオールドウィン院長（Aldwin, 1091-1102, 1107-12）の証書（表1の54）も、このオウヴァの土地の譲渡に関するものである。

これ以外に、目録との食い違いとして、表1の6は、「クランフィールドについて（*De Cranfelde*）」と表題が付いているが、実際の内容はクロウリ（Crawley, Bedfordshire）についてである。また、18-22、29、32、34-38、41、49等は、カーチュラリでは証書と書かれているが、むしろ分類上は令状（Writ）である。32は、ヘンリ2世証書のうち、唯一『年代記』にも『カーチュラリ』にも収録されていないが、内容は『年代記』に収録のヘンリ1世証書と同一である。ひょっとすると、ヘンリ1世証書をヘンリ2世証書と誤読したのかもしれない²⁰。

その他の証書のうち、55から59は一連の証書で、ウェストミンスタの土地を、ロンドンの聖ヤコブ救護院看護婦監督（*custos infirmiarum puellarum Hospitalis Sancti Jacobi*）のThuroldがRalph the summonerとその妻に与え（55, 56）、それと隣接する土地を、Alexander Gorinrarusとその息子Henryがラムジ修道院長に譲渡し（57, 58）、最後に修道院長との協約により、Ralphの寡婦であるMargaretが上記の土地を、ラルフの相続人が成人するまでの間、修道院長が保有することを認めた（59）、というものである。これら文書の後、29フォリオにはスペースがあったが、そこは埋められず、続く60の証書は、第4折り丁の30フォリオに新たに記載された。空いた空白部分には、後に、レナルフ院長の証書が転写されている（表2の4）。

106-109は、いずれもノリッジ司教ジョン（John, bishop of Norwich, 1200-14）による証書だが、106と107、108と109は、それぞれ本文は同一である。証人だけが異なる（但しいずれも1名しか転写されていない）が、同一文書が2部作成され、ノリッジとラムジで別個に認証を受けたものかもしれない。

最終和解譲渡証書は、『カーチュラリ』においても、一箇所にとめられている²¹が、年代順に並べられず、その数もVespasian E.IIより少ない。後者に含まれない証書も前者は含んでいるが、その大半は、後者の完成後と思われる13世紀後半以降のものである。例外は、Alan de Feugeresが、オウヴァの1ハイドの土地の権利をヒュー＝フォリオット院長に対して放棄した、1218年の証書である²²。後者に未収録の理由はわからないが、譲渡の見返りがAlanとその妻への食事と衣料の給付であるので、当事者が既に死亡していたのかもしれない。この他にも、当該時期のもので、Vespasian E.IIに収録されていない証書が何点か確認できる²³。

131のヒュー＝フォリオット院長とWilliam de Elsworthの間の和解証書は、写本では「ヘンリ3世の治世第3年（*anno regni Regis Henrici filii Regis Johannis tertio*）」となっているが、証書原本²⁴では「第13年（*ter-*

tio decimo)」で、書記の見間違いにより、この場所に転写されたようだ。

表2に移ろう。ここには、原則として、目録に記載されていない文書を追加文書としてまとめている。最終和解譲渡証書の筆写を第6折り丁から始めているために、第5折り丁と最終和解譲渡証書の転写が終わる第7折り丁にかなりの空白ができて、そこに相当数の追加の書き込みが見られる。協約文書が8点転写されたのみの第8フォリオも同様である。第9及び第10フォリオは追加文書のみで、予め加筆を想定して白紙のままだったか、あとから添付されたのだろう。証書及び最終和解譲渡証書の他に、noteとしたのは、写本に、*Nota* ないし *Memorandum* と文頭もしくは欄外に記されているものである。

既に転写されている文書との重複も数例見られる。14の最終和解譲渡証書は表1の116と同一だが、13の協約文書と同時期に転写されたものようである。両文書とも、Stapelwere 近くの沼沢地 (*mariscus*) の分割に関する同一の内容であるので、参照のために書き加えられたらしい。

16のエドワード1世による謄本認証証書は、ウィリアム1世の証書(表1の3)を謄写認証したヘンリ3世の同様の証書(1253年6月16日)を、更に謄写認証したものである。

17と18も関連しており、いずれもエリントン (Ellington, Huntingdonshire) の土地に関するものである。18で、John Russel がウィリアム=ゴドマンチェスタ院長 (William Godmanchester, 1268-85) に譲渡した土地を、17で、ウィリアムが Peter de Dokeby に譲渡している。19では、同名の John Russel が国王裁判官として登場するが、前記の2点の文書との関連は不明である。

第68フォリオ以降は、罫線が引かれないか、無視して記入されるようになる。31の文書は、国王裁判所における、ラムジ修道院長の110マルクの負債認定 (*Recognitio*) と、その後の同裁判所における、負債総額の払い込みを確認した文書である。

33に現れる William le Moigne は、修道院長の家臣 (*homo ligius abbatis*) であるにもかかわらず、「修道院長に行った臣従と忠誠誓約に反して、しばしば院長の体面を汚す行為をして (*multotiens defamavit contra homagium et fidelitatem eidem abbati factam*)」、よって「院長は苦しめられている (*idem abbas molestatus est*)」、と記され、損害の一覧が列挙されている。Le Moigne 家は修道院の重要なテナントで、同名の William は、表2の49の文書で、ヘンリ3世のスコットランド(1244年)とウェールズ(1245年)の遠征に際し、代理派遣という形でラムジ修道院の国王軍役奉仕を果たしている。

フォリオ71の裏面上部に、「ジョン王の子息ヘンリ(3世)王の治世3年に実施されたハンティンドン州の御料林巡回 (*Perambulatio facta tempore Regis Henrici filii Regis Johannis anno suo tertio de foresta in comitatu Huntedone.*)」という見出しが付されているが、同フォリオの37-39の文書は、直接御料林巡回とは関係ない。御料林関係の文書は、この後44まで続くが、72フォリオの上部三分の二程度が切り取られているので、これらの文書の関連は曖昧である。

上述の49の文書は、ウェールズ(1241年)、ポワトゥ・ガスコーニュ(1242年)、スコットランド(1244年)、ウェールズ(1245年、1257年)、と、ヘンリ3世の5度の遠征における、ラムジ修道院の国王軍役奉仕の4騎士の氏名と奉仕の実行状況を記した覚書で、『カーチュラリ』にも収録されているが、同書編者によれば、『カーチュラリ』の写本に転写されているのは1番目と3番目の記事のみで、残りは、Vespasian E.II から補ったものである²⁵。

註

- 1 カーチュラリ (*Cartulary, cartularium*) について、詳しくは、鶴島博和「*Textus Roffensis* の構成 古文書学的視点から」、『熊本大学教育学部紀要』、第41号(1992年)、1-38頁、藤本太美子「12世紀末ラ・トリニテ修道院のカルチュレールをめぐって—クロス=チャネル・エステイトの構造解明のために—」、『史学』、第70巻第3・4号(2001年)、101-33頁、

- 等を参照。本稿の作成において、これらの先行研究を参考にした。この他にも、鶴島博和「文書の保管と伝来（文書庫 Archives とカーチュラリ Cartulary の関係）」、『西洋中世史料の総合研究』（平成7年度～平成9年度科学研究費補助金（基盤研究A1）研究成果報告書、1998年）、34-37頁、森 貴子「アングロ・サクソン期文書における古英語の利用—ウスター司教座関連文書の検討から—」、藤井美男・田北廣道編著『ヨーロッパ中世世界の動態像—史料と理論の対話— 森本芳樹先生古稀記念論集』（九州大学出版会、2004年）、87-110頁も参照。
- 2 G. R. C. Davis, *Medieval Cartularies of Great Britain: A Short Catalogue* (London, 1958), p.90.
 - 3 W. H. Hart and P. A. Lyons, eds., *Cartularium Monasterii de Rameseia*, 3vols (Rolls Series, 1884-96).
 - 4 W. Dunn Macray, ed., *Chronicon Abbatiae Rameseiensis* (Rolls Series, 1886).
 - 5 これら史料集を使った研究として、J. A. Raftis, *The Estates of Ramsey Abbey* (Toronto, 1957) 等がある。わが国でも、國方敬司『中世イングランドにおける領主支配と農民』（刀水書房、1993年）が、『カーチュラリ』を援用している。他にも、J. Hudson, "Life-Grants of Land and the Development of Inheritance in Anglo-Norman England", in M. Chibnall, ed., *Anglo-Norman Studies XII* (Woodbridge, 1990), pp. 67-80; Hirokazu Tsurushima, "Forging Unity between Monks and Laity in Anglo-Norman England: The Fraternity of Ramsey Abbey", in A. A. Bijsterveld, H. Teunis and A. Wareham, eds., *Negotiating Secular and Ecclesiastical Power: Western Europe in the Central Middle Ages* (Turnhout, 1999), pp.133-46、を参照。
 - 6 Vespasian E.II のカーチュラリの収録文書目録として、W. Dugdale, *Monasticon Anglicanum* (new edition, London, 1819), ii, pp.551-52に、主要文書が掲載されている。
 - 7 第1フォリオも本来白紙だったようで、現在では、写本全体が合本された際に書き込まれたと見られる目録(*Catalogus*) が記されている。なお各フォリオの行数は、原則として32である。
 - 8 *Cartularium*, iii, p. 321. この他に、ブリティッシュ・ライブラリ所蔵の「ラムジ修道院図書館目録(*Catalogue of the Library of Ramsey Abbey*)」の中に、「ロバート＝オヴ＝ダドフォードの書籍(*Libri Roberti de Dodeforde*)」の項目がある。*Chronicon*, Appendix III, p.365.
 - 9 表1の65と91が同一文書である。
 - 10 15世紀前半の修道院長の証書が転写されている。表2の3を参照。
 - 11 D. Bates, ed., *Regesta Regum Anglo-Normannorum: The Acta of William I (1066-1087)* (Oxford, 1998), pp.702-03; P. Chaplais, "The Original Charters of Herbert and Gervase Abbots of Westminster (1121-1157)", in P. Chaplais, *Essays in Medieval Diplomacy and Administration* (London, 1981), pp.92-94.
 - 12 T. A. M. Bishop, *Scriptores Regis* (Oxford, 1961), p.51, no.315; *Chronicon*, p. 218, no. 206. 本稿では、偽文書の問題についてこれ以上立ち入ることはできないが、詳しくは、中村敦子「ウィリアム征服王イングランド証書のなかの「偽文書」—ウエストミンスター修道院宛証書から—」、國方敬司・直江眞一編『史料が語る中世ヨーロッパ』（刀水書房、2004年）、103-22頁、を参照。
 - 13 最終和解譲渡については、沢田裕治「中世コモン・ローにおける和解譲渡」、杉山晴康編『裁判と法の歴史的展開』（敬文堂、1992年）、217-41頁、宮前康司「最終和解譲渡証書について—中世ケントを対象として—」、『史料が語る中世ヨーロッパ』、411-27頁を参照。
 - 14 National Archives, PRO, E164/28; *Cartularium*, i, pp.viii-x.
 - 15 Oxford, Bodleian Library, Rawlinson B.333; *Chronicon*, pp. ix-xxii; Davis, *op.cit.*, p.90.
 - 16 表2の2。
 - 17 表1の42及び44。
 - 18 *The Victoria History of the County of Huntingdon*, i (London, 1926), p.380.
 - 19 表1の151。Cf. Hudson, *op. cit.*
 - 20 *Chronicon*, p.281, no.327.但し、証人名は異なっている。ヘンリ1世証書は、Pain FitzJohn だが、ヘンリ2世証書のほう は、尚書部長官のトマス＝ベケット (Thomas Becket, chancellor) である。しかし Vespasian E.II では、当該証書の前後の証書で、いずれもトマスが証人となっているので、誤ってトマスと記入してしまった可能性がある。
 - 21 *Cartularium*, ii, pp.347-88. この他に、*Ibid.*, i, pp.121-22, 166-70, ii, pp.286-87.
 - 22 *Ibid.*, ii, pp.368-69. この証書は編者によって1201年と注記されているが、1218年の誤りであろう。
 - 23 ハンティンドンシャーに限っても、以下の証書が未収録である。PRO, CP25/1/92/5/51 (1226), CP25/1/92/6/100 (1232), CP25/1/92/8/128 (1240), CP/25/1/92/8/138 (1241).
 - 24 PRO, CP25/1/92/5/72; Cf. G. J. Turner, ed., *A Calendar of the Feet of Fines Relating to the County of Huntingdon* (Cambridge, 1913), p.12.
 - 25 *Cartularium*, iii, pp.50n, 52n.
- (本稿は、平成17年度文部科学省科学研究費補助金による研究成果の一部である。)

表1 (Table 1)

Number	Folio	Date	Type of Document	Grantor/Party	Document	Reference/Original
(1st quire)						
1	6r-8r.	974	charter	K. Edgar	<i>Privilegium Edgari Regis</i> (Foundation charter).	<i>Ch.</i> 181-89; <i>Ca.</i> ii, 51-59 (Inspeximus).
2	8r-10r.	1061-66	charter	K. Edward the Confessor	<i>Privilegium Sancti Edwardi Regis Anglie.</i>	<i>Ca.</i> ii, 70-78 (Inspeximus).
(2nd quire)						
3	10r-11v.	1077	charter	K. William I	<i>Privilegium Regis Willelmi.</i>	<i>Ch.</i> 200-04; <i>Ca.</i> ii, 91-98; <i>Regesta.</i> 700-06.
4	11v-12r.	1133?	charter	K. Henry I	<i>de Waltone.</i>	<i>Ch.</i> 276-77, 320-21; <i>Ca.</i> i, 157-58, ii, 292; <i>Regesta.</i> ii, no.1766.
5	12r.	1123-30	charter	K. Henry I	<i>de adquisitione Reginaldi abbatis.</i>	<i>Ch.</i> 225; <i>Ca.</i> i, 243-44, ii, 294; <i>Regesta.</i> ii, no.1686.
6	12r.	1126?	charter	K. Henry I	<i>de Cranfelde.</i>	<i>Ch.</i> 225; <i>Ca.</i> i, 244-45; <i>Regesta.</i> ii, no.1451.
7	12rv.	1107-35	charter	K. Henry I	<i>de Hirsings[am] hundredo.</i>	<i>Ch.</i> 226; <i>Regesta.</i> ii, no.1632./BL, Add. Ch.33629.
8	12v.	1133-35	charter	K. Henry I	<i>de Riptone Regis.</i>	<i>Ch.</i> 283-84; <i>Regesta.</i> ii, no.1960.
9	12v-13r.	1129	charter	K. Henry I	<i>de omnibus libertatibus.</i>	<i>Ch.</i> 223-24; <i>Ca.</i> i, 242-43; <i>Regesta.</i> ii, no.1585./BL, Add. Ch.33643.
10	13r.	1135?	charter	K. Henry I	<i>de feria Sancti Yvonis.</i>	<i>Ch.</i> 226-27; <i>Regesta.</i> ii, no.1916.
11	13r.	1135	charter	K. Henry I	<i>de Bradeneche et una hida terre Giddinge.</i>	<i>Ch.</i> 284; <i>Ca.</i> i, 250; <i>Regesta.</i> ii, no.1915.
12	13rv.	1109-32	charter	K. Henry I	<i>de Stowe et Grettone.</i>	<i>Ch.</i> 221; <i>Ca.</i> i, 239, ii, 59-60 (Inspeximus); <i>Regesta.</i> ii, no.1751.
13	13v.	1114	charter	K. Henry I	<i>de socha et sacha.</i>	<i>Ch.</i> 222; <i>Ca.</i> i, 240-41; <i>Regesta.</i> ii, no.1057.
14	13v.	1110	charter	K. Henry I	<i>de feria Sancti Yvonis die Mercurii.</i>	<i>Ch.</i> 221-22, 265; <i>Ca.</i> i, 240, ii, 101 (Inspeximus); <i>Regesta.</i> ii, no.953./PRO, E40/14406.
15	13v-14r.	1107-11	charter	K. Henry I	<i>de una leugata circa Ramesiam.</i>	<i>Ch.</i> 214; <i>Regesta.</i> ii, no.999.
16	14r.	1103	charter	K. Henry I	<i>de socha et sacha.</i>	<i>Ch.</i> 219-20; <i>Ca.</i> i, 238; <i>Regesta.</i> ii, no.637.
17	14r.	1133?	charter	K. Henry I	<i>de warena in comitatu Huntedone.</i>	<i>Ch.</i> 229; <i>Regesta.</i> ii, no.1788.
18	14r.	1129-33	charter	K. Henry I	<i>de socha et sacha in Huntedone.</i>	<i>Ch.</i> 279; <i>Ca.</i> i, 247; <i>Regesta.</i> ii, no.1861.
19	14r.	1107-25	charter	K. Henry I	<i>de litore de Reche.</i>	<i>Ch.</i> 281; <i>Ca.</i> ii, 102 (Inspeximus); <i>Regesta.</i> ii, no.1437.
20	14r.	1131?	charter	K. Henry I	<i>de tholoneo.</i>	<i>Ch.</i> 283; <i>Regesta.</i> ii, no.1727.
21	14rv.	1121?	charter	K. Henry I	<i>de Aylintone et Wardebois et de ecclesiis Ricardi Venule.</i>	<i>Ch.</i> 281-82; <i>Ca.</i> i, 248; <i>Regesta.</i> ii, no.1262.
22	14v.	1100-27	charter	K. Henry I	<i>de Cranfelde.</i>	<i>Ch.</i> 230; <i>Regesta.</i> ii, no.1533.
23	14v.	1114-27	charter	K. Henry I	<i>de Holewelle.</i>	<i>Ch.</i> 281; <i>Ca.</i> i, 248, ii, 102 (Inspeximus); <i>Regesta.</i> ii, no.1534.
24	14v.	1109-29	charter	K. Henry I	<i>de Overa.</i>	<i>Ch.</i> 228; <i>Regesta.</i> ii, no.1629.
25	14v-15r.	1154-60	charter	K. Henry II	<i>prima carta quam Walterus abbas Ramesiensis adquisivit de omnibus suis et decimis et libertatibus abbacie de Ramesia.</i>	<i>Ch.</i> 285.
26	15r.	1155-62	charter	K. Henry II	<i>de leugata terre circa Ramesiam.</i>	<i>Ch.</i> 288; <i>Ca.</i> ii, 84 (Inspeximus), iii, 77-78; <i>Acta.</i> no.235./BL, Add. Ch.33646.
27	15r.	1154-60	charter	K. Henry II	<i>de hundredo de Hirsingstan.</i>	<i>Ch.</i> 287; <i>Ca.</i> ii, 84-85 (Inspeximus).
28	15rv.	1173-89	charter	K. Henry II	<i>de protectione.</i>	<i>Ch.</i> 297.
29	15v.	1155-61	charter	K. Henry II	<i>de acquietantia toloniei.</i>	<i>Ch.</i> 288-89, 299; <i>Acta.</i> no.234./PRO, E40/14460(i).
30	15v.	1154-60	charter	K. Henry II	<i>de feria Sancti Yvonis.</i>	<i>Ch.</i> 286.

31	15v-16r.	1155-62	charter	K. Henry II	<i>de Waltone cum suis libertatibus.</i>	<i>Ch.</i> 286-87, 321-22; <i>Ca.</i> i, 158-59, ii, 103 (Inspeximus); <i>Acta.</i> no.239./BL., Add. Ch.34144.
32	16r.	1155-62	charter	K. Henry II	<i>de consuetudinibus apud Brancestre et Ri[n]gsteade.</i>	<i>Ch.</i> 296-97.
33	16r.	1155-62	charter	K. Henry II	<i>de Bradeneche et una hida terre in Giddinge.</i>	<i>Ch.</i> 291; <i>Ca.</i> i, 251; <i>Acta.</i> no.238./PRO, E40/6288.
34	16r.	1155-62	charter	K. Henry II	<i>de Laushulle.</i>	<i>Ch.</i> 297; <i>Acta.</i> no.232./BL., Add. Ch.33644.
35	16r.	1154-73	charter	K. Henry II	<i>de protectione.</i>	<i>Ch.</i> 290.
36	16v.	1154-75	charter	K. Henry II	<i>de Stivecle.</i>	<i>Ch.</i> 288.
37	16v.	1154-89	charter	K. Henry II	<i>de Bradeneche.</i>	<i>Ch.</i> 292; <i>Ca.</i> i, 252; <i>Acta.</i> no.233./PRO, E40/14556.
38	16v.	1154-73	charter	K. Henry II	<i>de Laushulle.</i>	<i>Ca.</i> ii, 296-97.
39	16v-17r.	1189-95	charter	K. Richard I	<i>de custodia boscorum Ramesiensis cum agisiamto porcorum suorum.</i>	<i>Acta.</i> no.389./BL., Add. Ch.33648.
40	17rv.	1189	charter	K. Richard I	<i>de terris, ecclesiis, decimis et omnibus pertinentiis.</i>	<i>Ca.</i> ii, 85 (Inspeximus); <i>Acta.</i> no.326./BL., Add. Ch.33649.
41	17v.	1189	charter	K. Richard I	<i>de tholoneo.</i>	<i>Ch.</i> 323-24; <i>Ca.</i> ii, 86-89 (Inspeximus).
42	17v-18r.	1200	charter	K. John	<i>de omnibus libertatibus abbacie de Ramesia.</i>	<i>Ca.</i> ii, 62-64 (Inspeximus).
43	18v.	1202	charter	K. John	<i>de franco plegio.</i>	<i>Ca.</i> ii, 89-90 (Inspeximus).
44	18v-19r.	1200	charter	K. John	<i>de essartis et custodia boscorum.</i>	<i>Ca.</i> ii, 64-65 (Inspeximus).
45	19r.	1207	charter	K. John	<i>de essarto et banleuga.</i>	<i>Ca.</i> ii, 297-98.
46	19rv.	1202	charter	K. John	<i>de una feria apud Sanctum Yvonem ad festum Sancti Laurentii.</i>	
47	19v.	1199-1213	charter	K. John	<i>de mercato habendo apud Ramesiam per unum diem.</i>	
48	19v.	1199-1216	charter	K. John	<i>de protectione et ne monachi placitentur nisi coram rege.</i>	
49	19v.	1199-1216	charter	K. John	<i>ne ecclesia Ramesie vexetur contra cartas suas.</i>	
(3rd quire)						
50	20r-23r.	1225	charter	K. Henry III	<i>de omnibus libertatibus (Magna Carta, 1225).</i>	
51	23r-25r.	1225	charter	K. Henry III	<i>de foresta (Charter of the Forest, 1225).</i>	
52	25r.	1237	charter	K. Henry III	<i>de duabus cartis prescriptis.</i>	
53	25rv.	1187	charter	K. Henry II	<i>de Overa.</i>	<i>Ch.</i> 300-01; <i>Ca.</i> i, 122-23.
54	28r.	1091-1102	charter	A. Aldwin	<i>de Overe (Grant by A. Aldwin to William Pecche of land in Over).</i>	
55	28r.		charter	Thurold, warden of St James's Hospital	<i>Carta de terra Londinie (Grant by Thurold to Ralph the summoner and his wife of land in Westminster).</i>	
56	28v.		charter	Thurold, warden	<i>Item secunda carta (Of the same).</i>	
57	28v-29r.	1216-31	charter	Alexander Gorinramus	<i>Item tertia carta (Grant by Alexander to A. Hugh of land in Westminster).</i>	
58	29r.	1216-31	charter	Henry, son of Alexander	<i>Item quarta carta (Of the same).</i>	
59	29rv.		charter	Master Aubyn, warden	<i>Item quinta carta (Agreement between Margaret, widow of Ralph and the abbot of Ramsey).</i>	
(4th quire)						
60	30r.	1219-29	charter	A. Hugh	<i>de Waltona.</i>	<i>Ca.</i> i, 169, ii, 221-22.

61	30rv.	1216-31	charter	A. Hugh	<i>de Higgenhweye.</i>	<i>Ca.</i> ii, 220.
62	30v-31r.	1216-31	charter	A. Hugh	<i>de tallagio.</i>	<i>Ca.</i> ii, 218-19.
63	31r.	1214-16	charter	A. Richard	<i>de Stivecle.</i>	<i>Ca.</i> ii, 217-18.
64	31rv.	1220?	charter	Theobald de Lek	<i>de Bodesheye.</i>	Cf. 135 in Table1.
65	31v.	1216-31?	charter	Ralph de Stukeley	<i>Carta Radulphi de Stivecle</i> (Grant by Ralph to Ramsey Abbey of 16 acres of land).	
66	31v-32r.	1216-31	charter	A. Hugh	<i>de anniversario R [oberti] Trianel abbatis.</i>	<i>Ca.</i> ii, 215.
67	32r.	1228-31	charter	Nicolas de Stukeley	<i>Carta Nicholai de Stivecle.</i>	<i>Ca.</i> ii, 336-37.
68	32rv.	1216-31?	charter	Odger FitzMichael de Walton	<i>Carta Odegeri filii Michaelis de Waltone</i> (Grant by Odger to Ramsey Abbey of land in Barewe).	Cf. 133 and 155 in Table1
69	32v-33r.	1216-31?	charter	Daniel, son of Thomas the Cook	<i>Carta Danielis filii Thome coci</i> (Grant by Daniel to the sacristan of Ramsey of a croft).	
70	33r.	1216-31?	charter	Walter, son of Thomas the Cook	<i>Carta Walteri Marescalli</i> (Warranty by Walter to the sacristan of 6d.).	
71	33r.	1216-31?	charter	Walter, son of Thomas the Cook	<i>Item carta ejusdem</i> (Warranty by Walter to the sacristan of an annual rent).	
72	33rv.	1216-31?	charter	Ives, son of John the Smith	<i>Carta Yvonis filii Johannis fabri</i> (Release by Ives to the almonry of Ramsey Abbey of a meadow).	<i>Ca.</i> ii, 222.
73	33v.	1224-31	charter	A. Hugh	<i>de una marca quam concessit conventui de Ramesia.</i>	
74	33v-34r.		charter	Adam FitzAlexander	<i>de Menevole</i> (Grant by Adam to the chamberlain of Ramsey Abbey of 5 acres and one and a half rods of lands in Lawwahall).	
75	34r.		charter	John, brother of Adam	<i>de Menevole</i> (Of the same).	
76	34r.	c.1207?	charter	Oliver le Moigne	<i>de essarto.</i>	<i>Ca.</i> ii, 326.
77	34rv.	1216-31	charter	Warin FitzGeoffrey	<i>de Hemingforde</i> (Release by Warin to A. Hugh of a messuage in St Ives).	
78	34v-35r.		charter	Simon de Hemingford and Richard	<i>Carta Simonis de Hemingforde et Ricardi filii militis</i> (Of the same).	
79	35r.	1154-60	charter	A. Walter	<i>Carta W[alteri] abbatis Ramesiensis quam fecit Olivero le Moyne.</i>	<i>Ca.</i> i, 256-57, ii, 265.
80	35r.		charter	William le Curcy	<i>de Welles</i> (Grant by William to Ramsey Abbey of his father's land).	
81	35rv.		charter	William FitzRegner	<i>Carta Willelmi filii Regneri</i> (Grant by William to the almoner of Ramsey Abbey of 1 rod of land).	
82	35v.	1214-16	charter	Simon de Stukeley	<i>Carta Simonis de Stivecle</i> (Release by Simon to A. Richard of a messuage in Stukeley).	
83	35v.	1220-31	charter	A. Hugh	<i>de Bodesheye.</i>	<i>Ca.</i> ii, 220-21.
84	35v-36r.	c.1224?	charter	Hugh of London <i>et al.</i>	<i>de Falthe.</i>	<i>Ca.</i> ii, 326-27.
85	36r.	1216-31	charter	Alice, widow of Richard the Miller	<i>de Alintone</i> (Release by Alice to A. Hugh of lands in Elton).	

86	36r.	1216-31	charter	Katherine de Coveneye	<i>Carta Katherine de Coveneye</i> (Confirmation by Katherine of 8 acres of land in Chateriz held from the abbot of Ramsey for life).	
87	36rv.	1216-31?	charter	Roger, son of Richard the Miller	<i>Carta Alfontone</i> (Release by Roger to Ramsey Abbey of a mill in El-ton).	
88	36v.	1205	charter	Jocelin de Stukeley	<i>Carta Jocelini de Sivecle</i> (Confirmation by Walter, Jocelin's father, of the villages of Ripton and Ellington held from the abbot of Ramsey for life).	
89	36v-37r.		charter	Jocelin de Stukeley	<i>Carta Jocelini de Sivecle</i> (Grant by Jocelin to Ramsey Abbey of 10 acres of land in Wells).	
90	37r.		charter	Ralph de Stukeley	<i>Carta Radulphi de Sivecle</i> (Grant by Ralph to Ramsey Abbey of 7 acres of land in Stukeley).	
91	37r.		charter	Ralph de Stukeley	<i>Carta Radulphi de Sivecle</i> .	(=65 in Table1.)
92	37rv.	1148-51	charter	A. Walter	<i>Carta Radulphi de Sivecle de Maringe</i> .	Ca. i, 258-59, ii, 266.
93	37v.	1134	charter	Helewysa, widow of Walter de Bolebeck	<i>Carta Helewysa de Bolebeche</i> .	Ch, 317, 320; Ca. i, 156-57./PRO, E40/1293.
94	37v.		charter	Alan, son of Alan the Forester	<i>Carta Alani filii Alani forestarii</i> (Payment by Alan to Ramsey Abbey of 4d.).	
95	37v.	1136-60	charter	A. Walter	<i>Carta de Middelloho</i> .	Ca. ii, 266-67.
96	37v-38r.	1177-89	charter	Geoffrey, bishop of Ely	<i>Carta de Chateriz</i> .	Ch, 311; Ca. ii, 187-88.
97	38rv.	1177-89	charter	Richard, prior of Ely	<i>Carta Ricardi prioris et conventus Elyensis</i> .	Ca. ii, 188-89.
98	38v.	1173	charter	Richard, earl of Hertford	<i>Carta Ricardi comitis de Clare</i> (Grant by Richard to Ramsey Abbey of 12 acres of land in Standon).	
99	38v.	1114-60	charter	Alexander le Moigne	<i>Carta de duobus millibus allectum</i> .	Ca. ii, 317-18.
100	38v-39r.	1216-31	charter	A. Hugh	<i>Carta de melis de Brancestre</i> .	Cf. Ca. i, 101
101	39rv.	1188	charter	A. Robert	<i>Carta Roberti abbatis Ramestensis quam fecit G[alfredo] Bai-nard</i> .	Ca. ii, 277-78.
102	39v.		charter	Simon, rector of Cranfield church	<i>Carta Simonis rectoris ecclesie de Cranfelde</i> (Grant by Simon to Leon, his brother, of the right of lodging at the abbey).	
103	39v.	1222	charter	Hugh, bishop of Lincoln	<i>Carta de ceteraria Ramestie</i> .	Ca. ii, 195.
(5th quire)						
104	40r.	1189-95	charter	Hugh, bishop of Lincoln	<i>Carta de decima de Sutingdane</i> .	Ca. ii, 176-77.
105	40rv.	1189-95	charter	Hugh, bishop of Lincoln	<i>Carta de pensionibus</i> .	Ca. ii, 179-80.
106	40v-41r.	1200-14	charter	John, bishop of Norwich	<i>Carta de pensionibus</i> (Grant by the bishop to the monks of Ramsey of pensions from the churches).	(=106 in Table1)/PRO, E40/13998.
107	41r.	1200-14	charter	John, bishop of Norwich	<i>Carta de pensionibus</i> (Of the same).	(=108 in Table1)
108	41rv.	1200-14	charter	John, bishop of Norwich	<i>Carta de pensionibus</i> (Of the same).	
109	41v.	1200-14	charter	John, bishop of Norwich	<i>Carta de pensionibus</i> (Of the same).	
110	41v.	1186-1200	charter	Hugh, bishop of Lincoln	<i>Carta de pensione de Warthoys</i> (Grant by the bishop to Ramsey Abbey of 3 m. from Warboys church).	
		/1209-35				

	111	41v-42r.	1230	letter	Hugh, bishop of Ely		<i>Littere Hugonis Elyensis episcopi super conventionem quamdam</i> (Agreement between the abbot of Ramsey and Master Robert de Ywardeby).
(6th quire)	112	48r.	1182	fine	A. Robert (Trianel)		<i>inter Robertum abbatem Ramesiensem et Thoniam de Stanton.</i>
	113	48r.	1184	fine	A. Robert		<i>inter Robertum abbatem Ramesiensem et Stephanum] Travail.</i>
	114	48rv.	1187	fine	A. Robert		<i>inter abbatem Ramesiensem et G [alfridum] Pecche.</i> Ca. i, 121-22.
	115	48v.	1189	fine	Robert FitzAlexander		<i>inter Robertum filium Alexandri et Sibillam filiam Willelmi.</i>
	116	48v-49r.	1190	fine	A. Robert		<i>inter abbatem Ramesiensem et Willelmum de Warene.</i> Ca. ii, 380-81.
	117	49r.	1191	fine	Hugh de Winwick		<i>inter Hugonem filium Gilberti de Wineviche et Adam de Stivecle.</i>
	118	49rv.	1191	fine	A. Robert		<i>inter Robertum episcopum et abbatem Ramesiensem.</i>
	119	49v-50r.	1192	fine	A. Robert		<i>inter abbates de Ramesia et Sautre.</i> Ca. i, 166, ii, 347-48.
	120	50r.	1193-94	fine	A. Robert		<i>inter abbatem Ramesiensem et R [adulfum] de Stivecle.</i> Ca. ii, 348-49.
	121	50r.	1193	fine	A. Robert		<i>inter abbatem Ramesiensem et Hugonem de Bello Campo.</i>
	122	50rv.	1193	fine	A. Robert		<i>inter abbatem Ramesiensem et Petrum de Leyham.</i>
	123	50v-51r.	1195	fine	A. Robert		<i>inter abbatem Ramesiensem et comitem de Clare.</i>
	124	51r.	1198	fine	A. Robert		<i>inter Rogerum de Elesworthe et Robertum abbatem Ramesiensem.</i>
	125	51rv.	1199	fine	A. Robert		<i>inter Robertum Svein et abbatem Ramesiensem.</i> Ca. ii, 372-73.
	126	51v.	1200	fine	A. Eudo		<i>inter Rogerum filium Ricardi et Eudonem abbatem Ramesiensem.</i>
	127	51v-52r.	1202	fine	A. Robert (of Reading)		<i>inter Robertum abbatem Ramesiensem et Willelmum le Curtéis.</i> Ca. ii, 375-76.
	128	52r.	1204	fine	A. Robert		<i>inter Fulconem filium Edithe et Robertum abbatem Ramesiensem.</i>
	129	52rv.	1204	fine	A. Robert		<i>inter Robertum abbatem Ramesiensem et Thoniam de Thereford.</i>
	130	52v.	1205	fine	A. Robert		<i>inter Robertum abbatem Ramesiensem et Willelmum de Halywelle.</i> Ca. ii, 387-88.
	131	52v-53r.	1228-29	fine	A. Hugh		<i>inter H[ugonem] abbatem et Willelmum de Elesworthe.</i>
	132	53rv.	1219	fine	A. Hugh		<i>inter Katerinam quondam uxorem Oseberti et abbatem Ramesiensem.</i>
	133	53v-54r.	1219	fine	A. Hugh		<i>inter H[ugonem] abbatem Ramesiensem et Michaellem filium Michaelis de Wiltone.</i> Ca. i, 167-69, ii, 351-53.
	134	54rv.	1220	fine	A. Hugh		<i>inter H[ugonem] abbatem Ramesiensem et Stephanum de Marisco.</i> Ca. ii, 377-78.
	135	54v-55r.	1220	fine	A. Hugh		<i>inter Hugonem abbatem Ramesiensem et Theobaldum de Lek.</i> Ca. ii, 349-50.
	136	55r.	1221	fine	A. Hugh		<i>inter Warinum de Bradeneche et H [ugonem] abbatem.</i> Ca. ii, 370-71.
	137	55rv.	1221	fine	A. Hugh		<i>inter Robertum de Broi et Hugonem abbatem Ramesiensem.</i> Ca. ii, 386.
	138	55v.	1222	fine	A. Hugh		<i>inter Willelmum Puppard et A. uxorem ejus et H [ugonem] abbatem Ramesiensem.</i>
	139	55v-56r.	1223	fine	A. Hugh		<i>inter Ricardum filium Gilberti et H [ugonem] abbatem Ramesiensem.</i>
	140	56rv.	1224	fine	A. Hugh		<i>inter H[ugonem] abbatem Ramesiensem et Robertum abbatem Thorneye.</i> Ca. ii, 364-66.

141	56v-57r.	1224	fine A. Hugh	<i>inter H[ugonem] abbatem Ramesiensem et Robertum de Beinville.</i>	Ca. i, 170. ii, 353-54.
142	57r.	1227	fine Richard Fuillet	<i>inter Ricardum Fuillet et Ricardum de Ripone.</i>	
143	57rv.	1228	fine A. Hugh	<i>inter Oliverum le Moyne et H[ugonem] abbatem Ramesiensem.</i>	Ca. ii, 286-87.
144	57v.	1228	fine A. Hugh	<i>inter H[ugonem] abbatem et Jordanum Lenseise.</i>	
145	57v-58r.	1228	fine A. Hugh	<i>inter W[illelhum] Marescallum Ramesiensem et H[ugonem] abbatem.</i>	

(7th quire)

146	58r.	1228	fine A. Hugh	<i>inter Simonem Longum et H[ugonem] abbatem Ramesiensem de una virgata terre.</i>	Ca. ii, 367.
147	58v.	1228	fine A. Hugh	<i>inter N[icholaum] de Stivecle et conventum.</i>	Ca. ii, 351.
148	58v-59r.	1228	fine A. Hugh	<i>inter H[ugonem] abbatem et Alexandrum filium Nicholai de Bu-rewelle.</i>	Ca. ii, 371-72.
149	59r.	1229	fine A. Hugh	<i>inter Wydonem de Overe et Hugonem abbatem Ramesiensem.</i>	Ca. ii, 369-70.
150	59r.	1235	fine A. Ranulf	<i>inter Robertum de Rislege et Aliciam uxorem ejus et Ranulphum abbatem.</i>	
151	59v.	1237	fine A. Ranulf	<i>inter Hamonem Pecche et Ranulphum abbatem.</i>	Ca. i, 127.ii, 368.
152	59v-60r.	1243	fine A. Ranulf	<i>inter Ranulphum abbatem et Matheum de Leyham.</i>	Ca. ii, 360-61.
153	60rv.	1244	fine A. Ranulf	<i>inter Ranulphum abbatem et Vitalem Engayne.</i>	Ca. ii, 356-58.
154	60v-61r.	1245	fine A. Ranulf	<i>inter Ranulphum abbatem Ramesiensem et Angerum filium Paganii.</i>	

(8th quire)

155	64r.	1219	agreement A. Hugh	<i>inter Hugonem abbatem et Michaelem filium Michaelis de Wal- tone.</i>	Ca. i, 170-72.ii, 354-56./PRO, E40/1323.
156	64r-65r.	1216-31	agreement A. Hugh	<i>inter Hugonem abbatem et Radulphum de Trubeville.</i>	
157	65r.	1216-31	agreement A. Hugh	<i>inter G[alfridum] de Hemingforde et H[ugonem] abbatem.</i>	
158	65r.	1180-1200 /1202-06	agreement A. Robert	<i>inter Robertum abbatem de Ramesia et Hamonem de Sibbet [one].</i>	
159	65rv.	1216-31	agreement A. Hugh	<i>inter H[ugonem] abbatem et Robertum Rauland de Laushulle.</i>	
160	65v.	1216-31?	agreement A. Hugh?	<i>inter abbatem Ramesiensem et Michaelem de Walthone.</i>	
161	65v-66r.	1206	agreement A. Robert	<i>inter R[obertum] abbatem et Fulconem de Sancto Yvone.</i>	
162	66rv.	1224	agreement A. Hugh	<i>inter abbates de Ramesia et Thornwey.</i>	Ca. ii, 366.

K.: King, A.: Abbot (of Ramsey).

Ch: *Chronicon Abbatiae Ramesiensis*, Ca: *Cartularium Monasterii de Ramesia*.Regesta: *Regesta Regum Anglo-Normannorum, The Acta of William I (1066-1087)*.Regesta, ii: *Regesta Regum Anglo-Normannorum 1066-1154*, vol.ii, ed. by C. Johnson and H. A. Cronne (Oxford, 1956).Acta: *Acta of Henry II and Richard I*, ed. by J. C. Holt and R. Mortimer (List & Index Society, vol.21, 1986).

BL: British Library, Add. Ch.: Additional Charters, PRO: Public Record Office.

表 2 (Table 2)

Number	Folio	Date	Type of Document	Document	Reference/Original
(1st quire)					
1	5r.	1315	charter	Grant by A. John to Gregory <i>de Basinge</i> of laere of land in Burwell.	
(3rd quire)					
2	25v-27r.	1253	charter	Charter of <i>inspeximus</i> of K. Henry III.	<i>Ca.</i> ii, 86-91 (<i>Inspeximus</i>). //BL, Add. Ch. 33652.
3	27v.	1427?	charter	Charter of A. John <i>Tyeheuersch</i> (1419-34)?	
4	29v.	1231-53	charter	Grant by A. Ranulf to Reyner FitzRobert le Rideman of a message in Ramsey.	
(5th quire)					
5	42r.	1254-68?	charter	Grant by A. Hugh to Ralph of Winchester of an office in the abbey's kitchen.	<i>Cf. Ca.</i> ii, 229.
6	42rv.	1188	charter	Grant by John l'Estrange to A. Robert of the advowson of Holm church.	
7	42v.	1188	fine	Final concord between A. Robert and John l'Estrange concerning the advowson of Holm church.	<i>Ca.</i> ii, 383.
8	42v-43r.	1188	charter	Charter of John, bishop of Norwich concerning the advowson of Holm church.	<i>Ch.</i> 313-14; <i>Ca.</i> ii, 191-92.
9	43r.			Document concerning the injury to Holm church.	
10	43v-44r.	1241-42	note	Pleading concerning common of pasture in the marsh of Warboys.	<i>Ca.</i> iii, 36-37.
11	44r.			Division of the marshes of Warboys and Somersham.	
12	44rv.			Pleading between A. John and William de Gilling and his wife of land in St Ives.	<i>Cf. Ca.</i> iii, 64.
13	44v-45r.	1281-82	agreement	Agreement between A. William and William Bardolf.	<i>Ca.</i> ii, 322-23.
14	45rv.	1190	fine	Final concord between the abbot of Ramsey and William de Warene.	(=116 in Table I)
15	45v.	1311	fine	Final concord between A. John and Roger de Norton.	<i>Ca.</i> ii, 363-64.
16	46-47v.	1291	charter	Charter of <i>inspeximus</i> of K. Edward I.	
(7th quire)					
17	61r.	1268-85	charter	Grant by A. William to Peter de Dokeby of the land that John Russel held before.	
18	61r.	1268-85	charter	Release by John Russel to A. William of land in Ellington.	
19	61v.	1281		Pleading concerning Ramsey marsh.	<i>Ca.</i> i, 195-96.
20	61v-62r.	1251-53	charter	Grant by Philip de Clairvaux to A. Ranulf of a message in Little Raveley and land in Broughton.	<i>Cf. Ca.</i> i, 333-34, iii, 248.
21	62r-63r.	1254-68	charter	Grant by A. Hugh to Ranulf, son of Philip de Clairvaux of the same message and land.	
22	63r.			Finding of a jury concerning the military service of William Herberd.	
23	63r.			Finding of a jury of a villein who fled away.	
24	63v.			Note concerning the exchange of lands between William de Walpole and Alan le Cooper and the selling of land by John le Breton.	
25	63v.			Names of the tenants of Richard the Clerk.	
26	63v.	1202	fine	Final concord between A. Robert and William Curci.	(=127 in Table I)
(8th quire)					
27	66v.	1288	fine	Final concord between A. John and Dervegill, widow of John de Balliol.	<i>Ca.</i> ii, 361-62.

Ca. ii, 68-69 (*Inspeximus*).
 Ca. ii, 294-95.
 Ca. ii, 240-41.

Grant by K. Henry III of a fair in St Ives.
 Grant by K. Henry III of a market in Ramsey.
 Grant by A. John to the cellarer of a manor in Hemington.
 Acknowledgement of a debt owed by the abbot of Ramsey in the King's Bench and its payment.
 Abbey rents of free tenants and villeins in Hemington.

28 67r. 1268 charter
 29 67r. 1267 charter
 30 67v. 1293 charter
 31 68r. 1307 and
 1311

32 68v-69r.

(9th quire)

Many claims of A. Hugh against William le Moigne.
 Suitors at the court of Broughton.
 Relief of Ramsey Abbey and the service of Thomas Pyel of Isham in Scotland.
 French document concerning the fair?
 Release by John Gere of Holywell of land in St Ives.
 Grant by A. John to Henry Bataylle of 10 acres of land in Ringstead.
 Grant by A. John to the sons of Henry Bataylle of one and a half acres of land in Ringstead.
 Perambulation of forests in the county of Huntingdon.
 Perambulation of forests in the county of Huntingdon (Of the same).
 Perambulation of forests in the county of Huntingdon (Of the same).
 Obligation of the knights for the perambulation of forests.
 Errors found in the perambulation of forests in the county of Huntingdon.
 Final concord between A. Hugh and Fabian de Nees.

33 69v-70r. 1254-68?
 34 70r. 1251-52
 35 70r. 1244-45 note
 36 70v-71r.
 37 71v. c.1252? charter
 38 71v. c.1290? charter
 39 71v. 1290 charter
 40 71v. 1219
 41 72r. 1218
 42 72v-73r. 1301?
 43 73r. 1316
 44 73rv. 1299
 -1300
 45 74r. 1259 fine

Cf. Ca. i, 64.
 Cf. Ca. i, 41-43.
 Ca. iii, 55.

Cf. Ca. i, 409.

Cf. Ca. ii, 301-02.

Ca. ii, 373-75.
 //Cf. PRO, E40/14306.

(10th quire)

Charter of K. Richard I.
 Release by Richard, earl of Cornwall of the fishery and messuages.
 List of churches belonging to Ramsey Abbey.
 Military service of the knights of Ramsey Abbey in Wales, Scotland and France.
 Grant by Henry III to Westminster Abbey of the privileges (*libertatibus*) etc.
 Grant by A. Reginald to Gilbert FitzWido of Stow.
 List of royal charters.
 List of the grants by the abbots of Ramsey Abbey.

46 75rv. 1189 charter
 47 75v. 1227-72 charter
 48 76r.
 49 77r. 1240-57 note
 50 77v-78r. 1223/24-
 1246 charter
 51 78r. 1114-30 charter
 52 78v.
 53 78v.

(=40 in Table I)
 Ca. ii, 330-31.
 Cf. Ca. ii, 202-04.
 Ca. iii, 50-53.

Ca. i, 146-47, ii, 262-63.

K.: King.A.: Abbot (of Ramsey).

Ch: *Chronicon Abbatie Rameseiensis*, Ca: *Cartularium Monasterii de Rameseia*.

BL: British Library, Add. Ch.: Additional Charters, PRO: Public Record Office.